



読者のために

老師「講演録」に深く感銘

東京都
浅草寺清水谷孝尚猊下

この度は「論文集」ご恵與下され、誠に有難く厚く御禮申し上げます。

いつもお届け頂きます「成寿」で勉強させて頂いておりますが今回の御老師の「講演録」感銘深く拝読いたしました。

御開山椽庵白純大和尚様には二十三回忌をお迎えになりましたこと、全日仏でお世話様になり、貧道の師父孝海和尚とも御縁が深く、いつもそれらの事が念頭にあります。

初めて旅行に参加して

横浜市
鈴木一昭・水穂様

早いもので旅行より帰宅いたしました。一週間が過ぎようとしています。旅行中は何くれとなく、お心遣い下さいます。ありがとうございます。さぞかしご老師さま、奥さま、そしてお寺の方々にはお疲れになられましたことでしょう。

初めて参加させていただきました旅行が、方丈さま、奥さまの記念すべき旅であったことに、改めて清水寺の貫主

さまの聞法因縁五〇〇生、同席対面五〇〇生という法話を思い出しております。

日頃ご無礼やら、気のつかないことの多い私達ですが、今年、百歳になりました父もおり、ますますお導き下さいますようお願い申し上げます。

とても嬉しかった旅行

横浜市
高橋トミ子様

方丈様この度の旅行、御苦勞様でした。私はとても嬉しかったです。

飛行機に乗った時、奥様やお嬢様方の側に席がありました

た。なんと幸運なんでしょう。私は嬉しくてたまりませんでした。お写真どうもありがとうございました。うございました。そうしてス

ナップ写真を見た時、東郷先生と一緒に写した写真が入って居りました。私は嬉しくて嬉しくてたまりません。あの百万本のバラがまだ心に余韻として残って居ります。本当にありがとうございました。

一心に求めることの重要さ

東京都
林 博明先生

本日は、貴重な『善光寺留学僧育成会』論文集第四集を

御恵送賜りありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

此の度は、「先進国社会の弊害と人間性回復」について興味深く拝読しています。

中庸の精神を養い、物質欲や世俗主義を控え、精神的な心の幸福に主眼を置くべきであると共に、哲学や心理学が求められている。

また、「法の華は人によって開く」黒田老師の一心に祈願すること。

一心に求めることがどんなに重要であるかということをお教えていただき心の宝にしたと思います。

「法の華は人によって開く」
に教えられ

東京都
角家文雄様

このたびは、横浜市善光寺
留学僧育英会「論文集 vol.4」
をお送りいただき厚く御礼申
上げます。

一週間かけてじっくり読ま
せていただきました。御老師
の「法の華は人によって開く」
「人材育成と私の使命」には
教えられることが多々ありま
した。

留学僧になりたいくらい

沖縄県
国吉司 凵子様

此の度は貴重な論文集、留
学募集要項を頂戴し、有難く
拝読させていただいております。
私が留学僧になりたいく
らい。論文集もまだ途中で
が読み始めたら面白く、そし
て楽しく愉快で閉じられずじ
まいです。早速お礼状を書か
なくてはと思いつつ三日も過
ぎてしまいました。感謝でご
ざいます。

素晴らしいお仕事をしてい
らっしゃる住職様に敬意を表

します。人材育成という道を
辿りながら、私の場合ままご
とみたいなものですが、お会
い出来た御縁で精進させて下
さいますよう、お願い申し上
げます。

新書は三回以上熟読

京都府
村上博中老師

小子も八十九歳の重年です
が今の処では割合に丈夫らし
いのでボツボツと動いて山務
をしております。今では正住
職も、二、三年は実行できる
かと思いつつ暮らしております。

さて、いつもながら特に此の度は高度の論文集 vol. 4 御送付くださいまして、有難うございます。英文も小生教員時代に中学生に英語を教育しました事を思い出しております。お笑い下さい。駒大当時のラウラートルネ女教師のことも思い出しております。

本を読むのは大すきで、ポツポツ読書させてもらっております。大部は論文集で第一回で十日はかかるかなあと思っています。私は新書は必ず三回以上は熟読するくせでおります。

昨春の論文集

滋賀県
佐々木教悟老師

毎号「成寿」をお送り下さいます。誠にありがたく、厚くお礼を申し上げます。

また今回は留学僧育英会の「論文集 vol. 4」をご惠贈下さいます。誠にありがとうございます。

尚、昨春は第七回留学僧であった落合隆師（現在チョンブリーのワット・ノンタムルンとチエングマイのワット・プラプッタバートの両方に止住、(両方ともに Meditation

Center をもっています) の著作『ウィパッサナー瞑想・修習の導き』を読ませていただき、マハーブンニョー比丘(落合師の比丘名)のご苦勞のほどを偲ばせていただいたことでした。

帰国を兼ねて遊行の途に

ミャンマー
真野大成様

ご無沙汰を致しております。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、こちらは先月二十一日をもって今年の(雨)安居も無事終了し、集っていた衆

僧たちも、三々五々、私寮寺
や故郷の村に向け帰り始めま
した。そこで私も、帰国の前
にさらに幾つかの修行センター
を訪ねておきたいと思い、こ
のたび帰国への旅程も兼ねて、
遊行の途につくことに致しま
した。

十二月十日前後にこちらを
発ち、先ずいまこちらで私の
浄人をして留下来的人が来
年から止住する予定の村に一ヶ
月余り立ち寄った後、来年一
月末からタイへ戻る三月上旬
までは、ヤンゴン郊外の
CHANMYAY YEIK
THAに掛塔をする予定で
おります。

